

## 「健康保険証」の廃止撤回を求める意見書（案）

政府は現行の健康保険証を２０２４年秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化させるマイナンバー法等改定案が成立しました。ところが「マイナ保険証」のトラブルは後を絶ちません。

資格を確認できない、医療費の負担割合が間違っている、別人の保険情報が紐づけられ薬剤情報も別人が表示される等々。政府の「マイナンバー総点検の中間報告」でも計８，４４１件もの誤りが判明し、河野太郎デジタル相も「健康に被害が及べば深刻なトラブル」と国会でその重大性を認めています。このため健康保険証を廃止して、マイナ保険証に一本化する政府方針の延期や撤回を求める世論は７割以上にのぼっています。

そもそも、マイナンバーカードの取得は、本来、任意だったにもかかわらず、事実上「マイナ保険証」の強制になっています。さらに、健康保険証は保険者に発行・交付義務がありますが、今後は自己責任に基づく「申請主義」になり、無保険の方ができる可能性もあります。

よって、政府におかれましては、健康保険証の廃止を撤回するよう強く要望します。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

令和５年１０月 日

埼玉県南埼玉郡宮代町議会議長 合川 泰治

衆議院議長	細田 博之 様
参議院議長	尾辻 秀久 様
内閣総理大臣	岸田 文雄 様
厚生労働大臣	加藤 勝信 様
デジタル大臣	河野 太郎 様